

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.

6013704 - 0010

作

業

主

管

G

記

入

欄

メ

モ

保管希望日時

2018年6月1日

(金)

11:00

承認

審査

作成

作業件名

モバイル型Sr除去装置除却(除却)

発生場所

技能訓練センター近傍、H5エリア

2018/5/14

2018/5/14

2018/5/14

作業主管G

処理設備グループ

監理員

TEL

元請会社

担当者

TEL

線量測定年月日

2018/4/26

測定者

測定器名

ICWBL

管理番号

F1-ICWBL-130

No.

保管物名

※カテゴリ

①

②

③

物量

測定場所
雰囲気線量率

表面線量率

$\beta \cdot \alpha$
汚染の有無

$\beta + \gamma$
線量率

1

不燃物(ケーブル類)

B

08

D

B

1

m²

0.01

mSv/h

0.01

mSv/h

無

2

不燃物(金属ガラ)

B

01

D

B

4

m²

0.01

mSv/h

0.01

mSv/h

無

3

4

5

注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄

受付

受付番号

廃2018

—

06

—

0001

2018/5/15

調整後保管日時

2018年6月1日

11:00

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

測定日

2018年6月1日

測定No.

氏名

測定器

管理番号

1

ICWBL

F1-ICWBL-100

2

3

4

保管実績記入欄

メ

モ

No.

枝番

保管物名

測定場所
雰囲気線量率

表面線量率

$\beta + \gamma$
線量率

保管場所

保管日時

物量

再利用/
減容可否

コンテナNo.

測定No.

1

1

不燃物(ケーブル類) ⑩

5 μ Sv/h

5 μ Sv/h

エリアC

2018/6/1 10:45

1 m²

1

2

1

不燃物(金属ガラ) ⑩

5 μ Sv/h

5 μ Sv/h

エリアC

2018/6/1 10:45

4 m²

1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ

モ

※カテゴリ

①

A

可燃物

01 紙・ウエス類

02 プラスチック・ポリビニール類

03 木材類

04 可燃物その他

05 —

06 —

07 —

08 —

09 —

10 —

B

不燃物

01 金属ガラ

02 コンクリートガラ

03 機器類・制御盤類

04 土砂類

05 塩化ビニール類

06 保温材

07 石綿含有物

08 ケーブル類

09 アスファルトガラ

10 不燃物その他

11 フランジタンク本体

12 フランジタンク付属品

13 —

14 —

15 —

C

難燃物

01 ゴム類

02 難燃シート類

03 ホース類

04 難燃物その他

05 —

D

伐採木

01 伐採木(幹・根)

02 伐採木(枝・葉)

03 —

04 —

05 —

②

状態

D:乾燥, W:湿気有

③

履歴

A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄には「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013201 - 0001																																																																																																												
作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年6月1日			(金)		9:00			承認		審査		作成																																																																																																									
	作業件名		3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事																																																																																																																					
	発生場所		第一地組ヤード									2018/5/16		2018/5/16		2018/5/16																																																																																																								
	作業主管G		3号機建築グループ					監理員				TEL																																																																																																												
	元請会社							担当者				TEL																																																																																																												
	線量測定年月日		2018/5/15		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-361																																																																																																									
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																							
	1		金属がら			B 01 D B			10 m ³		0.04 mSv/h		0.04 mSv/h		無																																																																																																									
	2								m ³																																																																																																															
	3								m ³																																																																																																															
4								m ³																																																																																																																
5								m ³																																																																																																																
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="10">2018年6月1日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="9">F1-ICW-012</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>																線量測定内容												測定日		2018年6月1日										測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICW	F1-ICW-012									2												3												4																																
線量測定内容																																																																																																																								
測定日		2018年6月1日																																																																																																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																					
1		ICW	F1-ICW-012																																																																																																																					
2																																																																																																																								
3																																																																																																																								
4																																																																																																																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																																																			
	1	1	金属がら ⑩		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアC		2018/6/1 8:55		10 m ³						1																																																																																																			
															m ³																																																																																																									
															m ³																																																																																																									
															m ³																																																																																																									
															m ³																																																																																																									
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																								
メ モ																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カ テ ゴ リ</th> <th rowspan="5">①</th> <th colspan="2">A 可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th colspan="2">B 不燃物</th> <th colspan="2">06 —</th> <th colspan="2">07 —</th> <th colspan="2">08 —</th> <th colspan="2">09 —</th> <th colspan="2">10 —</th> </tr> <tr> <th colspan="2">C 難燃物</th> <th colspan="2">01 金属ガラ</th> <th colspan="2">02 コンクリートガラ</th> <th colspan="2">03 機器類・制御盤類</th> <th colspan="2">04 土砂類</th> <th colspan="2">05 塩化ビニール類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">D 伐採木</th> <th colspan="2">06 保温材</th> <th colspan="2">07 石綿含有物</th> <th colspan="2">08 ケーブル類</th> <th colspan="2">09 アスファルトガラ</th> <th colspan="2">10 不燃物その他</th> </tr> <tr> <th colspan="2">② 状 態</th> <th colspan="2">01 フランジタンク本体</th> <th colspan="2">02 難燃シート類</th> <th colspan="2">03 ホース類</th> <th colspan="2">04 難燃物その他</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> <tr> <th colspan="2">③ 履 歴</th> <th colspan="2">01 ゴム類</th> <th colspan="2">02 伐採木(幹・根)</th> <th colspan="2">03 —</th> <th colspan="2">04 伐採木(枝・葉)</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">01 伐採木(幹・根)</th> <th colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</th> <th colspan="2">03 —</th> <th colspan="2">04 —</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</th> <th colspan="2">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> </tbody> </table>																							※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		B 不燃物		06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		C 難燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		D 伐採木		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		② 状 態		01 フランジタンク本体		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		③ 履 歴		01 ゴム類		02 伐採木(幹・根)		03 —		04 伐採木(枝・葉)		05 —				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —				D:乾燥, W:湿気有		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —																																																																																																												
		B 不燃物		06 —		07 —		08 —		09 —		10 —																																																																																																												
		C 難燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																												
		D 伐採木		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																												
		② 状 態		01 フランジタンク本体		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																																																												
③ 履 歴		01 ゴム類		02 伐採木(幹・根)		03 —		04 伐採木(枝・葉)		05 —																																																																																																														
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																																																														
		D:乾燥, W:湿気有		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																				
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																																								

瓦 礫 類 伐 採 木 管 理 票										計上No.		6013111 - 0005																
作業主管理 記録 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年6月1日			(金)		9:30			承認		審査		作成													
	作業件名		1F 凍土壁表層対策工事																									
	発生場所		1～4号機周辺										2018/5/22		2018/5/22		2018/5/22											
	作業主管G		地下水調査グループ					監理員			TEL																	
	元請会社							担当者			TEL																	
	線量測定年月日		2018/5/11		測定者					測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-360												
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率											
	1		コンクリートガラ			B 02 D B		2 m ²		50 μ Sv/h		50 μ Sv/h		無														
	2							m ²																				
	3							m ²																				
4							m ²																					
5							m ²																					
線量測定内容																												
測定日		2018年6月1日																										
測定No.		氏名			測定器		管理番号																					
1					ICW		F1-ICW-012																					
2																												
3																												
4																												
保管実績記入欄		No.		枝番	保管物名			測定場所 雰囲気線量率			表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所			保管日時			物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
1		1		コンクリートガラ①			5 μ Sv/h			5 μ Sv/h				エリアC			2018/6/1 9:20			2 m ²						1		
																				m ²								
																				m ²								
																				m ²								
																				m ²								
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																												
メ モ																												

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	プロセス建屋 4FL / サイドバンカ建屋 2FL					2018/5/22	2018/5/22	2018/5/22	
	作業主管G	設備電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/5/22	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
	1	ケーブル屑 他	B	08	D	B	2 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	金属屑	B	01	D	B	0.2 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: FI-ICW-160/F1-ICWBL-103										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	06	—	0027
				2018/5/22
調整後保管日時		2018年6月1日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-100
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル屑 他 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 8:40	2 m ³			1
	2	1	金属屑 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 8:40	0.2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013201 - 0001																																																																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年6月1日		(金)	8:00		承認	審査	作成																																																																													
	作業件名		3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事																																																																																				
	発生場所		BCヤード						2018/5/24	2018/5/24	2018/5/24																																																																												
	作業主管G		3号機建築グループ				監理員		TEL																																																																														
	元請会社						担当者		TEL																																																																														
	線量測定年月日		2018/5/22	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICWBL-31																																																																													
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																												
				①	②	③																																																																																	
	1	木材	A	03	D	B	0.5 m ³	0.04 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h																																																																												
	2	可燃物その他	A	04	D	B	3 m ³	0.04 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h																																																																												
3	金属がら	B	01	D	B	0.5 m ³	0.04 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h																																																																													
4	不燃物その他	B	10	D	B	1 m ³	0.04 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h																																																																													
5						m ³																																																																																	
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="11">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="10">2018年6月1日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="8">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="8">F1-ICWBL-100</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容											測定日	2018年6月1日										測定No.	氏名	測定器	管理番号								1		ICWBL	F1-ICWBL-100								2											3											4										
線量測定内容																																																																																							
測定日	2018年6月1日																																																																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																				
1		ICWBL	F1-ICWBL-100																																																																																				
2																																																																																							
3																																																																																							
4																																																																																							
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																											
	1	1	木材	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	45 μ Sv/h	エリアW1	2018/6/1 8:20	0.5 m ³			1																																																																											
	2	1	可燃物その他	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	180 μ Sv/h	エリアW1	2018/6/1 8:20	2 m ³			1																																																																											
	3	1	金属がら	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	180 μ Sv/h	エリアW1	2018/6/1 8:20	0.5 m ³			1																																																																											
	4	1	不燃物その他	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	180 μ Sv/h	エリアW1	2018/6/1 8:20	2 m ³			1																																																																											
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																							
メ モ																																																																																							
※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—																																																																														
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —																																																																															
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類																																																																															
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他																																																																															
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —																																																																															
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—																																																																														
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—																																																																														
		D	伐 採 木																																																																																				
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																															
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																							

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013203 - 0008													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年6月1日			(金)		9:30		承認		審査		作成											
	作業件名		3, 4号機T/B防水性向上対策工事																						
	発生場所		3号機タービン建屋・プロセス建屋								2018/5/24		2018/5/24		2018/5/24										
	作業主管G		建築水対策グループ					監理員		TEL															
	元請会社							担当者		TEL															
	線量測定年月日		2018/5/16		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-82										
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率								
						① ② ③																			
	1		木材類			A 03 D A			0.5 m ³		0.01 mSv/h		0.03 mSv/h		β 有		0.05 mSv/h								
	2		土砂類			B 04 D A			2 m ³		0.01 mSv/h		0.2 mSv/h		β 有		0.8 mSv/h								
3		アスファルトガラ			B 09 D A			1 m ³		0.01 mSv/h		0.03 mSv/h		β 有		0.1 mSv/h									
4								m ³																	
5								m ³																	
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																									
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.		
	1		1		木材類		5 μ Sv/h		20 μ Sv/h		40 μ Sv/h		エリアW1		2018/6/1 9:45		1 m ³						1		
	2		1		土砂類		5 μ Sv/h		60 μ Sv/h		75 μ Sv/h		エリアW1		2018/6/1 9:45		3 m ³						1		
	3		1		アスファルトガラ		5 μ Sv/h		20 μ Sv/h		35 μ Sv/h		エリアW1		2018/6/1 9:45		1 m ³						1		
																	m ³								
																	m ³								
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
	メ																								
	モ																								
	※ カ テ ゴ リ	①		A		可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —									
06 —								07 —		08 —		09 —		10 —											
B				不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類											
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他											
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —											
C				難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —											
						01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —											
D				伐採木																					
②				状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」													
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																									
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																									
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G1エリア					2018/5/25	2018/5/25	2018/5/25		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/5/23	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	塩ビ管	B	05	D	B	1 m	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	金属ゴミ	B	01	D	B	2 m	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	不燃ゴミ	B	10	D	B	2 m	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
4						m					
5						m					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	06	—	0033
				2018/5/25
調整後保管日時		2018年6月1日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-100
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	金属ゴミ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 9:05	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G6エリア					2018/5/25	2018/5/25	2018/5/25		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/5/24	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	紙・ダンボール・ウェス	A	01	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
4	木パレット	A	03	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5						m ³					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2018/5/25
廃2018	—	06	— 0034	
調整後保管日時		2018年6月1日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアO	2018/6/1 10:30	2 m ³			1
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/1 10:30	1 m ³			1
	3	1	紙・ダンボール・ウェス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/1 10:30	0.3 m ³			1
	4	1	木パレット	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/1 10:30	0.5 m ³			1
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010505 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	10:00		承認	審査	作成						
	作業件名	車両整備業務													
	発生場所	構内整備工場						2018/5/25	2018/5/25	2018/5/25					
	作業主管G	資材物流グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
	線量測定年月日	2018/5/9		測定者			測定器名	ICW		管理番号	202				
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	バッテリー		B	10	D	B	2	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2								m						
	3								m						
4								m							
5								m							
バッテリー保管数:約200個(トラック用バッテリー含む)															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	06	—	0040
				2018/5/25
調整後保管日時		2018年6月1日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	バッテリー ⑥	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 10:00	2 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0001

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	3号機海側周辺構内整備および関連除却工事								
	発生場所	3・4号機サービスビル建屋周辺(GI-24)						2018/5/25	2018/5/25	2018/5/25
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/5/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
1	コンクリートガラ・10tダンプ	B	02	D	A	10 m ³	0.08 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				

注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2018/5/28
廃2018	—	06	— 0042	
調整後保管日時		2018年6月1日		8:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ・10tダンプ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 8:25	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ・10tダンプ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 8:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	3号機海側周辺構内整備および関連除却工事								
	発生場所	3・4号機サービスビル建屋周辺(GI-24)					2018/5/25	2018/5/25	2018/5/25	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/5/22	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ・10tダンブ	B	02	D	A	10 m ²	0.08 mSv/h	0.08 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	06	—	0043
				2018/5/28
調整後保管日時		2018年6月1日		10:00
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ・10tダンブ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 9:00	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ・10tダンブ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 9:10	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐採木						
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013213 - 0001			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年6月1日		(金)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名		3号機海側周辺構内整備および関連除却工事										
	発生場所		3・4号機サービスビル建屋周辺 (G1-24)						2018/5/25	2018/5/25	2018/5/25		
	作業主管G		建築水対策グループ				監理員	TEL					
	元請会社						担当者	TEL					
	線量測定年月日		2018/5/22		測定者		測定器名		ICW		管理番号	F1-ICW-282	
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ・10tダンブ		B	02	D	A	25 m ³	0.08 mSv/h		0.08 mSv/h	無	
	2							m ³					
	3							m ³					
4							m ³						
5							m ³						
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/5/28
廃2018	—	06	—	0044	
調整後保管日時		2018年6月1日			10:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ・10tダンブ ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/6/1 9:40	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ・10tダンブ ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/6/1 9:40	5 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013213 - 0001							
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年6月1日		(金)	11:00		承認		審査	作成						
	作業件名		3号機海側周辺構内整備および関連除却工事														
	発生場所		3・4号機サービスビル建屋周辺(GI-24)						2018/5/25	2018/5/25	2018/5/25						
	作業主管G		建築水対策グループ				監理員		TEL								
	元請会社						担当者		TEL								
	線量測定年月日		2018/5/22		測定者		測定器名		ICW		管理番号 F1-ICW-282						
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
	1		コンクリートガラ・10tダンブ			B	02	D	A	10	m ²	0.08	mSv/h	0.08	mSv/h	無	
	2										m ²						
	3										m ²						
4										m ²							
5										m ²							
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	06	—	0045
				2018/5/28
調整後保管日時		2018年6月1日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ・10tダンブ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 10:10	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ・10tダンブ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 10:15	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	3号機海側周辺構内整備および関連除却工事								
	発生場所	3・4号機サービスビル建屋周辺(GI-24)					2018/5/29	2018/5/29	2018/5/29	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/5/28		測定者			測定器名	ICW		
							管理番号	F1-ICW-282		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	スクラップ(10tダンプ)			① B 01 ② D ③ A	5 m ²	0.08 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
	2					m ²				
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	06	—	0073
				2018/5/30
調整後保管日時		2018年6月1日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年6月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-012	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	スクラップ(10tダンプ) ⑦	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/6/1 9:35	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013111 - 0005					
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年6月1日			(金)	8:30		承認	審査	作成					
	作業件名	1F 凍土壁表層対策工事													
	発生場所	GL-26					2018/5/22	2018/5/22	2018/5/22						
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL							
	元請会社				担当者			TEL							
	線量測定年月日	2018/5/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-360					
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率				
					①	②	③								
	1	ホース類			C	03	D	B	3 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無			
	2								m ²						
3								m ²							
4								m ²							
5								m ²							
線量測定内容															
測定日		2018年6月1日													
測定No.	氏名	測定器	管理番号												
1		ICWBL	F1-ICWBL-120												
2															
3															
4															
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ホース類 (→H)	2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO	2018/6/1 8:30	3 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
※カテゴリ															
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他	
				06	—		07	—		08	—		09	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—	
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)															
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。															
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	8:30		承認	審査	作成											
	作業件名	#1ガレキ撤去工事																		
	発生場所	回収場所：鉄塔ヤード(GP - 22 北)						2018/5/30	2018/5/30	2018/5/29										
	作業主管 G	1号機建築グループ				監理員			TEL											
	元請会社					担当者			TEL											
	線量測定年月日	2018/5/29		測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1 - ICWBL - 100										
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率										
		①	②	③																
		1	可燃物その他(発泡ウレタン)	A	04						W	B	1.5	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		2	難燃物その他(床フロアカーペット)	C	04						W	B	0.15	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		3																		
		4																		
5																				
1) 可燃物その他の内容物：旧CC操作室ユニットハウス天井吹付断熱材(発泡ウレタン) 巡回回収 2) 難燃物その他の内容物：旧CC操作室ユニットハウス 床フロアカーペット 巡回回収																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0030
				2018/5/30
調整後保管日時		2018年6月1日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(発泡ウレタン)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/1 8:20	2.5 m ²			1
	2	1	難燃物その他(床フロアカーペット)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/1 8:20	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟								
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/6/1		測定者			測定器名	F1-ICW,ICWBH		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	フランジタンク片底板 (T17012)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有 40 mSv/h
	2	フランジタンク片側板 (T17020)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有 45 mSv/h
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
× モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。 ※本書類につきましては、貯留設備Gへご一報ください。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0034
				2018/6/1
調整後保管日時		2018年6月1日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板 (T17012)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/6/1 11:45	21 m ²		T17012	1
	2	1	フランジタンク片側板 (T17020)	5 μSv/h	7 μSv/h	12 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/6/1 11:40	21 m ²		T17020	1
									m ²			
									m ²			
× モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年6月1日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務								
	発生場所	化学分析棟(GT-27南西)					2018/5/30	2018/5/30	2018/5/30	
	作業主管G	分析評価グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
線量測定年月日	2018/5/30	測定者			測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-98	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	A	02	D	A	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	紙・ウエス類	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	『回収』注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0051
				2018/5/31
調整後保管日時		2018年6月1日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/6/1 10:30	4.2 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/6/1 10:30	1.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。